

## 製品名: シンデカン-1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86616

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.09mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:33 kDa; Observed MW:33 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	Syndecan-1
別名	SDC; CD138; SYND1; syndecan
遺伝子 ID	6382
SwissProt ID	P18827
免疫原	ヒトシンデカン-1の合成ペプチド

### 背景

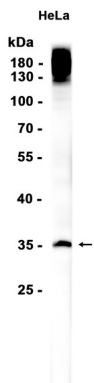
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、膜貫通型（I型）ヘパラン硫酸プロテオグリカンであり、シンデカンプロテオグリカ

ンファミリーに属します。シンデカン<sup>1</sup>は細胞結合、細胞シグナル伝達、細胞骨格形成を媒介し、シンデカン受容体は HIV-1 tat タンパク質の細胞内移行に必須です。シンデカン<sup>1</sup> タンパク質は膜貫通タンパク質として機能し、細胞外マトリックスタンパク質受容体を介して細胞増殖、細胞移動、細胞-マトリックス相互作用に関与します。シンデカン<sup>1</sup> の発現変化は、いくつかの異なる腫瘍型で検出されています。この遺伝子には複数の転写バリエーションが存在する可能性がありますが、完全長の性質がこれまでに報告されているのは2つだけです。これら2つがこの遺伝子の主要なバリエーションであり、同じタンパク質をコードしています。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



シンデカン<sup>1</sup> ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。